

ISO14001環境マネジメントシステム審査認証

環境マネジメントシステムとは

環境マネジメントシステム(EMS)は、企業活動と環境との相互作用を管理することにより、汚染の予防、関連する法的要求事項の順守、並びに環境パフォーマンス全体の改善を達成するためにEMSを継続的に強化することを目的としたマネジメントシステムです。

国際的な第三者認証制度で、第三者の認証機関が組織のマネジメントシステムを審査し、適合した場合にその組織を認証します。当社は、1994年に公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)より認証機関としての認定を受けております。

EMS導入のメリット

環境マネジメントシステムを導入することにより、以下の効果が期待できます。

● 企業のイメージアップ

- ・環境改善企業としてのイメージアップ
- ・EMS構築による経営者の姿勢の評価
- ・第三者認証による企業の信頼性の向上

● コストの削減

- ・廃棄物削減
- ・運送と廃棄処理コストの削減
- ・エネルギー効率の増大
- ・訴訟リスクの減少と保険料率の低減

● マーケット上の利益

- ・既存マーケットの確保
- ・新規マーケットでの市場開拓のチャンス
- ・環境改善企業としてのイメージアップ

● 顧客が得るメリット

- ・顧客の信頼増大
- ・廃棄物削減によるコストダウン評価
- ・継続して供給が受けられる安心感

● 職員が得るメリット

- ・よりよい作業環境
- ・環境への理解
- ・社会に対する責任意識の高揚

● 環境上の利益

- ・マイナスの環境影響の減少
- ・プラスの環境影響の増大
- ・エネルギー消費、エコシステムへのインパクト

当社の審査の特徴

1. 規格の適合性に軸足をおく厳正・適確な審査
社会環境の変化に伴い、製品・サービス・プロセス等は常に変化します。長年認証を継続している組織でも、これらの変化への対応について、その適合性を審査することが必要です。
2. 組織の特性を考慮し有効性を重視する審査
審査の結果は、単に適合の確認だけにとどまるのではなく、組織がISO規格に何を求めているかを尊重し、業界特性や組織文化、事業規模やシステムの成熟度など、組織の特性と個性に応じた審査をします。
3. 組織の運用実態を十分把握した審査
現場審査を重視し、トップの方針が管理部門から現場まで一貫性を持って浸透しているかを検証し、組織の方々のモチベーションを意識した審査をします。
4. コミュニケーションを重視した対話型審査
現場審査はもとより、審査の準備段階から結果報告まで、組織とのコミュニケーションにより、十分に納得いただける対話型審査を行います。こうした対話が“気づき”につながると考えています。
5. ステークホルダーの視点に立った審査
ステークホルダーの視点に立ち、「誰のため」、「何のため」に役立つシステムであるべきかを常に考えた審査を目指します。